

日本三大美林のひとつ青森ヒバについて

1. 日本三大美林とは何か

日本三大美林とは、**青森ヒバ、秋田スギ、木曾ヒノキ**の天然林のことで、東北森林管理局が管理経営している国有林には、青森ヒバ、秋田スギが存在します。

東北森林管理局が過去の文献を調査した限りでは、三大美林という言葉は、**明治 34 年（1901 年）**の青森大林区署長（現東北森林管理局長）の演説で、初めて使用されたことがわかりました。【資料 1】

また、同じ時期に、学校の教科書にも三大美林という言葉が出てきます。【資料 2】

これらのことから、**三大美林**という概念は、明治後期にできたものと考えられます。

江戸時代前期までにヒバを含む原生的な森林の多くが乱伐されたため、**青森ヒバの美林は、江戸時代後期から大切に守り育てられた二次林が中心**と考えられています。

原生的な森林：人の手がほとんど加えられていない天然林
二次林：人の手がある程度加えられた天然林

【資料 1】大日本山林会報告第 226 号

【資料 2】中等新地理(小野正美著)

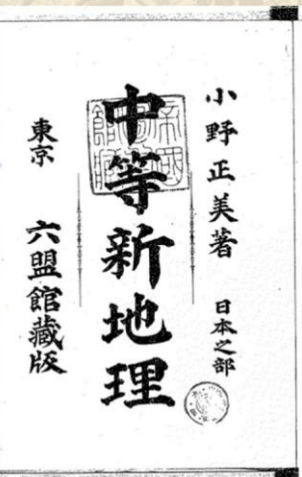
尚ほ終りに落んでチョツと申したいことがあります、此青森縣のヒバの林と云ふものは木曾の扁柏、秋田の杉と共に本邦三大美林の中に數へられて居る、最も青森のヒバは天然林であるから極く不規則に生へて居る、奈良などの人造林のやうではなから、古い木もあれば若い木もあるやうになつて居る、極く



読みやすくした文

青森県のヒバの林と云うものは木曾のヒノキ、秋田の杉と共に本邦**三大美林**の中に数えられている

第一とす。從つて蠶業最盛にして蠶絲繭・繭卵紙等の産出夥し。○牧業には馬の畜養最盛に行はれ、南部・三春の産は、特に良種を以て古來其の名高し。○森林は各地に繁茂すれども、特に陸奥の羅漢・柏林羽後の杉林は、中央區なる木曾の扁柏林と共に、本邦の**三大美林**と稱せらる。○鑛産に富めるは、本區の特色にして、特に秋田縣を第一とす。秋田は、



読みやすくした文

森林は各地に繁茂すれども、特に陸奥のヒバ林、羽後のスギ林は、中央區なる木曾のヒノキ林と共に本邦の**三大美林**と稱せらる

2. 現在残っている青森ヒバ美林

(1) 青森ヒバ美林の条件

過去の文献から当時の**青森ヒバ美林**の条件を調べたところ、次のような二次林があてはまることがわかりました。

津軽半島に位置し、森林の年齢が100年以上で、太さが34cm以上（特に良いものは52cm以上）、高さが20m以上ある森林。また、ほぼヒバのみで構成されており、ヒバの枝葉によって日光が遮られ、昼でも森林の中が暗い森林。

(2) 青森ヒバ美林の条件を全て満たす森林（美林特級）が見られる場所

ちょうぼうざん
眺望山ヒバ希少個体群保護林
(青森森林管理署)
[青森市]



アクセスマップ

なかこどもりやま
中小泊山自然維持タイプのうち
旧遺伝資源保存林指定区域
(金木支署)
[北津軽郡中泊町]

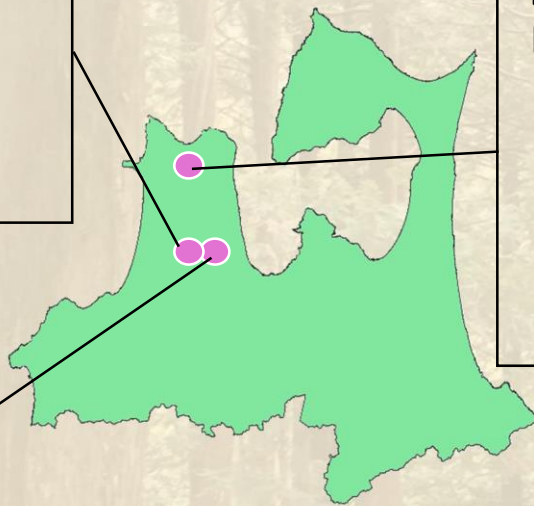


アクセスマップ

ちょうぼうざん
眺望山自然休養林
(青森森林管理署)
[青森市]



アクセスマップ



※アクセスの可否は
管轄署にご確認ください。



眺望山ヒバ希少個体群保護林

3. 青森ヒバ美林の維持と保護

(1) 青森ヒバ美林の現在の取扱

青森ヒバの美林は、「保護林」や「レクリエーションの森」などに設定されています。「保護林」は、原生的な森林や野生生物を守るため、「レクリエーションの森」は、観光などの場となる美しい森林を維持するために、林野庁がつくった制度です。

これらの森林では、**原則として人の手を加えることはありません。**



眺望山自然休養林



中小泊山国有林自然維持タイプのうち旧遺伝資源保存林指定区域

(2) 課題

今ある美林をしっかりと守っていても、ヒバが寿命で枯れてしまったり、台風などの自然災害により被害を受けて倒れた後に、広葉樹が侵入し、明治時代に美林と謳われた森林の姿が損なわれてしまう可能性があります。

青森ヒバ美林を未来へと伝えていくためには、今ある美林の維持と保護だけでなく、新しい美林を育てていくことも必要です。

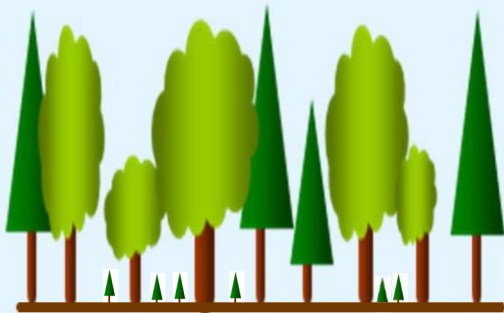
4. 青森ヒバ美林を増やす取組について

今までどおり青森ヒバ美林を守っていただけでは、美林が減ることはあっても増えることはありません。このため、江戸時代後期から木を育てて美林を作り上げたのと同じような取組を、令和の時代も進めることとしています。

具体的には、**今後の育て方を工夫して、美林に近い青森ヒバの森林を美林へ誘導していきます**。美林誘導が完了するまでには100年以上もかかると見込んでおり、長い年月をかけて実施していく予定です。いつまでも美しい青森ヒバの森林が地域の観光資源となるよう、また、超高級品の青森ヒバの木材が絶えてしまうことがないよう、令和5年度から、**青森ヒバ美林誘導プロジェクト**として取組を進めています。

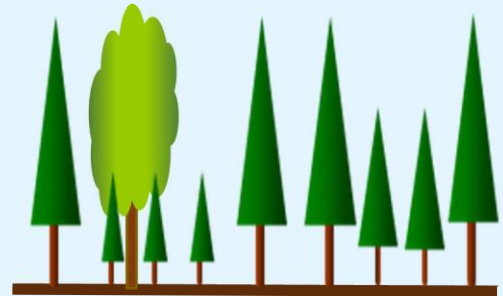
■ 青森ヒバ美林への誘導

誘導開始前



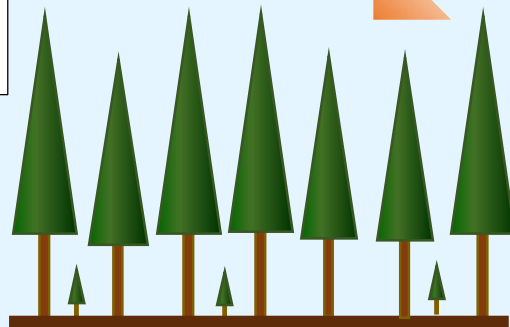
これまで択伐等が行われ、ヒバと高木性広葉樹が適度に混交する林分

50年後【誘導中】



必要に応じて、広葉樹や形質不良木について、除間伐を実施

100年後以降
【ヒバ美林誘導完了】



幹周り1.5m以上の大木を中心として、次世代のヒバも群生するヒバの純林



林野庁東北森林管理局



青森ヒバと秋田スギの美林誘導プロジェクトの詳細はこちら